

南信州広域連合第1回広域連合会議 結果報告

日時：令和2年4月17日(金) 15:30~16:10

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長・有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

加藤課長補佐兼庶務係長・櫻井課長補佐兼広域振興係長・宇佐美庶務係主事

1 開会…15:30

2 広域連合長あいさつ

新型コロナウイルスについて、我々は郡市民の命と生活を守っていくために、あらゆることをや
っていかねばいけぬ立場にある。それぞれ首長方も現場で苦労があると思うが、広域としてやっ
ていけることがあればしっかりスクラムを組んでやっていきたい。

新たに飯田建設事務所長に就任された細川所長から挨拶をいただきたい。

細川所長： 4月1日付けで飯田建設事務所長を拝命。皆さんとともに南信州地域の基盤整備を進めて
いきたいと思うので、ご指導のほどよろしくお願ひしたい。

3 協議・報告事項

(1) 令和2年度の職員体制、新任・昇格職員等の紹介(資料No.1)【説明者：高田事務局長】

事務局は総務課と地域医療福祉連携課の2課体制となり、地域医療福祉連携課の中に医療福祉連携係
を新設した。事務局内では2名が専門主査に昇格。

飯田環境センターでは、稲葉クリーンセンター及び桐林クリーンセンター場長に再任用の正規職員を
配置した。

(事務局長説明後、新任職員及び昇格職員自己紹介。その後、飯田広域消防の署課長自己紹介。)

→ 説明内容確認。

(2) 産業振興と人材育成の拠点(エス・バード)の管理・運営状況について(資料No.2)

【説明者：(公財)南信州・飯田産業センター寺田参事】

*エス・バードの利用状況

- ・昨年度の利用者は63,808名(貸館54,285名、センター主催事業等9,523名)。
- ・インキュベーション室は1社入居中、その他複数件入居相談中。
- ・エス・バードの利活用の様子やお知らせを、隔月で「エス・バード通信」として発行している。

*指定管理について

- ・利用料収入は移転直後の影響や新型コロナウイルスによるキャンセル等により昨年同額程度。
- ・施設運営に係る人件費や光熱水費等といった費用は、指定管理費や貸館等による施設利用料収入
で概ね賄うことができる見込み。

*信州大学航空機システム共同研究講座の状況

- ・これまで8名の学生が修了した。本年度は、新入生4名と2年生3名の計7名が学んでいる。

- ・応用磁気学会「年間論文奨励賞」受賞学生が育成されるなど、ハイレベルな人材育成が展開されている。
- ・研究発表会を毎年開催。地元企業の技術者や市町村職員と活発な意見交換をしている。
- ・県内企業への就職や知見を蓄えた社会人学生が市内企業に戻るなど、県内企業の人材の確保、強化に寄与している。
- ・教授と学生が、地域の小学生を対象にスーパーサイエンス教室を開講。将来の地域産業の担い手醸成に寄与している。

＊飯田工業技術試験研究所の運営状況

- ・環境試験機器について、計画最終年度である本年度は、経産省WGから振動試験装置が推奨され導入予定。
- ・昨年度の飯田工業技術試験研究所の利用は全体で843件。

＊エス・バードの目指す方向性等について

- ・産業センターは、エス・バードへの移転と指定管理を機に、リニア・三遠南信時代を見据えた「地域振興ビジョン」を策定した。同ビジョンに基づき、社会情勢の変化に対応しつつ、当地域の強みを活かしながら産業面で「自立し、共に創造し、選ばれる地域」を目指す。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(3) 長野県南信州地域振興局の組織改正について（資料No.3）【説明者：南信州地域振興局山下副局長】

＊改正内容

- ・リニアバレー構想の具体化や伊那谷自治体会議の運営など、リニア整備推進局の地域振興に関する業務を地元で行うために南信州地域振興局に移管。
- ・南信州地域振興局にリニア活用推進担当の副局長（上伊那・木曾地域兼務）を配置。
- ・「企画振興課」を「リニア活用・企画振興課」に再編し2名増員。

＊目的

- ・リニア開業まで7年となり、関連する地域振興策は構想から実行の段階に移行。
- ・地域の関係機関等とより密接な連携体制を構築し、リニアを活かした地域振興の取組みを加速化する。

＊主な業務内容

- ・リニアバレー構想実現プランに係る官民が連携した広域的取組体制の構築
- ・伊那谷自治体会議の運営
- ・リニア駅近郊エリアのまちづくり構想に係る取組支援等

→ 説明内容確認、質疑なし。

(4) 飯田広域消防本部から（資料No.4）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

4月12日現在の火災発生状況35件、前年同日比マイナス7件で建物火災がマイナス10件、林野火災がマイナス4件となっている。

＊たき火等に起因する火災発生防止について

3月1日から3月31日まで1か月間、たき火火災ゼロ運動を実施した。

1月から3月までの火災発生状況を分析すると、55%がたき火等による火災。たき火等による火災から建物火災になったものが3件、林野火災になったものが2件。出火時間帯は10時から16時までの間が多い。

6月の雨期までの間、引き続き気象状況に応じてたき火等に対する火災予防対策を推進する。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(5) その他

いいむす 21 登録判定について（資料No.5）【説明者：櫻井課長補佐兼広域振興係長】

今回審査の結果、適合と認められた4件の事業所の登録について審議、承認をいただきたい。

- ・有限会社北原土木、南信州宣言の更新。
- ・イワタニ長野株式会社、いいむす 21 の更新で 100 ポイント取得。
- ・原建設株式会社、いいむす 21 の更新で 94 ポイント取得。
- ・長野県飯田 O I D E 長姫高等学校生徒会、いいむす 21 の更新で 71 ポイント取得。

新型コロナウイルスの影響を考慮し、登録証の交付式は省略したい。

→ 異議なし、承認。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

→ 報告事項なし。

(2) 飯田建設事務所

→ 報告事項なし。

(3) 飯田保健福祉事務所

新型コロナウイルスについて

この地域は、東京や名古屋に家族がいる人も多いと思う。そういう人が新型コロナウイルスになったり、仕事がなくなったりして帰ってくるのが今後あり得る。その時はすぐに同居せず、2週間は別に暮らすことが大事。

また、移住を計画している人もいるかもしれないが、2週間は違うところで暮らし、その後来ていただくのが良いと思う。長野県には来ないでくださいと言ってしまうのは、今まで移住に取り組んできたのが無駄になってしまうので良くない。しっかりと健康観察をしたうえで受け入れれば良い。

5 当面の日程について

5月12日（火）10：00 広域連合議会臨時会告示 議会運営委員会

6 その他

高森町： 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにも、集まらなくても会議ができるように連合会議にもテレビ会議などを取り入れていただきたい。

7 閉会…16：10